

カンデサルタン錠8mg「ニプロ」 無包装状態での安定性試験について

ニプロ株式会社

I. 試料

試験製剤:カンデサルタン錠8mg「ニプロ」(1錠中に日本薬局方 カンデサルタン シレキセチル8mgを含有)
Lot No.:A14B1

II. 試験条件

保 存 形 態

①温度:遮光・気密容器

②湿度:遮光・開放

③光 :透明気密容器

保 存 条 件

①温度:40°C±2°C 3ヶ月

②湿度:75%RH±5%RH/25°C±2°C 3ヶ月

③光 :120万lx・hr

III. 試験結果および考察

『錠剤・カプセル剤の無包装状態での安定性試験法について(答申)』における評価法および評価基準に従い評価した結果は以下の通りである。
カンデサルタン錠8mg「ニプロ」について、温度(40°C 3ヶ月)、湿度(75%RH/25°C 3ヶ月)、光(120万lx・hr)に対する安定性試験を実施した結果、
湿度条件下において約32%の硬度低下(規格内)が見られたが、その他の条件においては各項目に変化は認められなかった。

(1ロットの測定結果)

製品名	保存条件		外観	硬度	溶出性	含量	評価
カンデサルタン錠8mg「ニプロ」	<開始時>		ごくうすいだいだい色の 割線入りの素錠	適合	適合	適合	
	温度	40°C±2°C 3ヶ月	変化なし	変化なし	変化なし	変化なし	◎
	湿度	75%RH±5%RH/25°C±2°C 3ヶ月	変化なし	57.0N→39.0Nへ低下 (規格内)	変化なし	変化なし	○
	光	120万lx・hr	変化なし	変化なし	変化なし	変化なし	◎

(外観 n=3、硬度 n=5、溶出性 n=1(6ベッセル)、含量 n=3の測定結果)

《硬度》	分類	評価基準
	変化なし	硬度変化が30%未満の場合
	変化あり(規格内)	硬度変化が30%以上で、硬度が2.0kg重(約20N)以上の場合
	変化あり(規格外)	硬度変化が30%以上で、硬度が2.0kg重(約20N)未満の場合

◎: 全ての試験項目で変化を認めない

○: いずれかの試験項目で、「規格内」の変化を認める

△: いずれかの試験項目で、「規格外」の変化を認める